

令和6年度

# 1級土木施工管理技術検定第二次検定

# 解答試案

※ご注意※

- ・本解答は令和6年10月16日にCIC日本建設情報センターが独自に制作・編集したもので、予告なく変更する場合がございます。また、CIC日本建設情報センターが独自の見解に基づき制作したもので、試験結果等について保証するものではありません。
- ・解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)全国建設研修センターとは一切関係ございません。

**CIC**

日本建設情報センター

<https://www.cic-ct.co.jp>

不許複製



**必須問題**

**【問題 1】**

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

**【問題 2】**

記号	適切な語句
イ	強度
ロ	衝撃
ハ	1
ニ	引張
ホ	垂直

**【問題 3】**

発注者から直接建設工事を請け負った建設業者が、作成する施工体制台帳に関し、「建設業法令」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」で定められていることについて、以下の中から5つを選び、解答欄に記述する。

①	公共工事の受注者は、作成した施工体制台帳の写しを発注者に提出しなければならない。
②	下請負人の商号又は名称、工事の内容及び工期その他を記載した施工体制台帳を作成し、工事現場ごとに備え置かなければならない。
③	発注者から請求があったときは、法の規定により、備え置かれた施工体制台帳を、その発注者の閲覧に供しなければならない。
④	施工体制台帳には下請契約書・技術者の資格証等の写しを添付しなければならない。
⑤	施工体制台帳の記載との合致の点検を求められた際は拒んではならない。
⑥	施工体制台帳の記載事項に変更があった場合は、変更があった年月日を付記して変更後の書類を添付しなければならない。
⑦	施工体制台帳の備置き及び施工体系図の掲示は、工事の目的物を発注者に引き渡すまで行わなければならない。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

※問題 4～問題 11 までは選択問題(1), (2)です。

問題 4～問題 7 までの選択問題(1)の 4 問題のうちから 2 問題、問題 8～問題 11 までの選択問題(2)の 4 問題のうちから 2 問題を選択し解答してください。

### 選択問題 ( 1 )

#### 【問題 4】

記号	適切な語句
イ	スランプ
ロ	1.5
ハ	一体性
ニ	凝結
ホ	35

### 選択問題 ( 1 )

#### 【問題 5】

記号	適切な語句
イ	最適含水比
ロ	礫
ハ	シルト
ニ	性能
ホ	施工当初

**選択問題（１）**

**【問題 6】**

記号	適切な語句
イ	開始前
ロ	傾斜角
ハ	定格荷重
ニ	最大限
ホ	合図

**選択問題（１）**

**【問題 7】**

記号	適切な語句
イ	電波
ロ	5
ハ	オフセット
ニ	中断
ホ	走行軌跡

問題 8～問題 11 までの選択問題(2)の 4 問題のうちから 2 問題を選択し解答してください。

## 選択問題（ 2 ）

### 【問題 8】

図の切梁式土留め支保工内の掘削にあたって、下記の項目①～④から 2 つ選び、番号、その留意点又は実施方法を、それぞれ解答欄に記述する。

	選択肢	留意点又は実施方法
①	掘削順序	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏土圧が作用しないよう左右対称に掘削する。</li> <li>・ 応力的に不利な状態をできる限り短時間にするため、中央部分より掘削する。</li> </ul>
②	過掘りの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計上の余掘り量をこえないように留意して掘削する。</li> <li>・ できるだけ余掘り量を小さくする。</li> </ul>
③	場内排水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掘削溝内への流入を防止するため、排水溝を設けて排除を行う。</li> <li>・ 釜場排水工法等で適切に排水を行う。</li> </ul>
④	漏水，出水時の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリートによる地山の被覆等、適切な洗堀防止工を施す。</li> <li>・ 釜場排水工法等で適切に排水を行う。</li> </ul>

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

## 選択問題（2）

### 【問題 9】

コンクリートを打ち重ねる場合に、コールドジョイントの発生を防止するための打込み又は締固めにおける対策を2つ解答欄に記述する。

①	上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行い、上層と下層が一体となるように施工する。
②	締固め時の棒状バイブレーターを下層のコンクリートに10 cm程度挿入して行う。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

## 選択問題（2）

### 【問題 10】

労働安全衛生規則上、事業者が、強風、大雨、大雪等の悪天候若しくは中震（震度4）以上の地震又は足場の組立て、一部解体若しくは変更の後において、足場（つり足場を除く。）における作業を行うとき、点検者を指名して、作業を開始する前に点検させる事項について、以下の中から2つを選び、解答欄に記述する。

①	床材の損傷、取付け及び掛渡しの状態
②	緊結材及び緊結金具の損傷及び腐食の状態
③	脚部の沈下及び滑動の状態

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

**選択問題（２）****【問題 11】**

建設工事に伴う騒音又は振動を防止するための具体的な対策又は調査について、以下①～⑤の対策と⑥⑦の調査の中から５つを選び、解答欄に記述する。

ただし、騒音と振動の防止対策又は調査が同一内容のものは不可とする。

①	影響が小さくなるように騒音・振動の発生期間を短縮し、建設機械が一時的に集中して稼働しないよう工事計画を工夫する。
②	不必要な高速運転、急発進・急停止、空ぶかし等は避ける。
③	作業待ちの時間は、こまめにエンジンを止めるよう周知徹底し、不要なアイドリングを禁止する。
④	発生振動レベル値の小さい機械や工法の選定を原則とする。
⑤	作業待ち時は建設機械のエンジンをできる限り止め、騒音振動を発生させない。
⑥	騒音・振動発生源と家屋等の距離等を調査する。
⑦	振動の影響が予想される建築物等について、工事施工前の状況を調査する。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。